

令和 6 年度
中国環境パートナーシップオフィス
中国地方ESD活動支援センター
業務実施報告書(概要版)

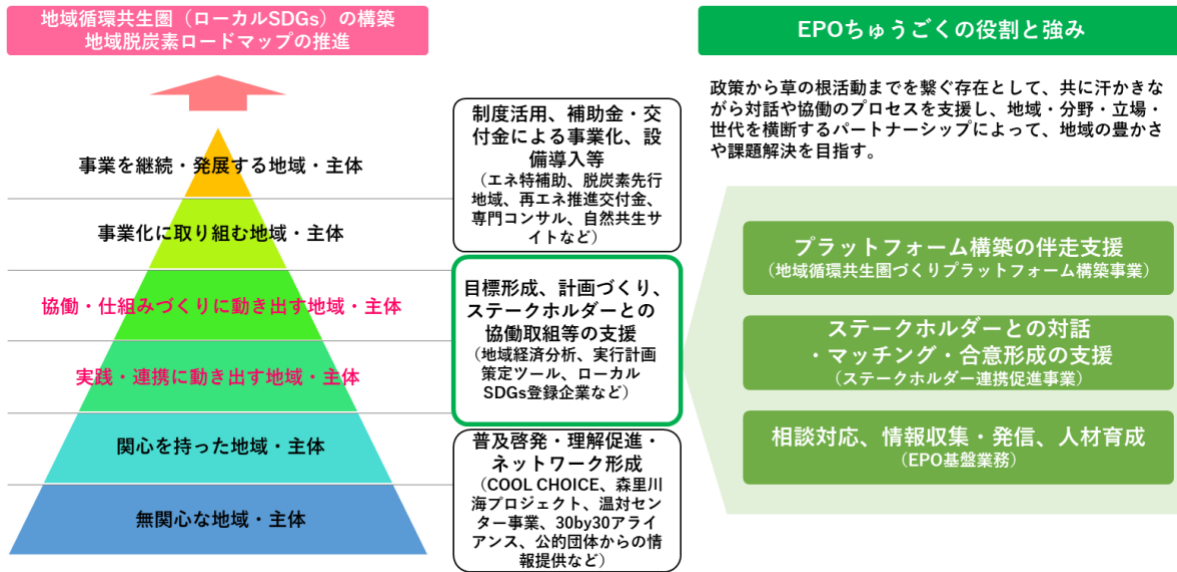
運営団体:特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

1 業務方針

① EPO ちゅうごく

地域循環共生圏の構築や脱炭素地域づくりの協働プロセスを支援するパートナー

EPOちゅうごくは、地域循環共生圏（ローカルSDGs）や地域脱炭素ロードマップ等を推進するために、環境教育等促進法第19条の拠点機能を基盤として、近年に培ってきた経済セクターや金融機関を含む幅広いネットワークを活かしながら、多分野・主体に共にアプローチするための中間支援組織（NPOや環境活動の支援セクター、温暖化防止活動推進センター、ネットワーク組織）等との連携を強化し、地域循環共生圏の構築や地域脱炭素ロードマップの推進に向けて「実践・連携に動き出す地域・主体」及び「協働・仕組みづくりに動き出す地域・主体」を主なターゲットとして、EPOちゅうごくが持つ強みやノウハウを活かした業務を展開する。



② 中国地方 ESD センター

SDGsと気候変動教育を推進するための担い手育成

中国地方ESDセンターは、中国5県全てに登録されている11の地域ESD活動推進拠点と連携して、学校・社会教育のみならず様々なフィールドにおいて各地域の特色あるESD取組を支援し、近年に拡充したユース（若年層の社会人、大学生、高校生）やローカルSDGsのネットワークを活かしながら、SDGs達成のためのプロセスを促進する。

また、気候変動を切り口として、社会を変えるために実践できる人づくり、脱炭素地域づくりと連動した教育実践、多様な価値観と対話による協創、気候変動対策（緩和と適応）を両立させる教育を推進するため、学校・社会教育拠点・ビジネスセクターをメインターゲットとして、個人の変容から社会の変容に向けてフォーカスした「ESDネットワーク×気候変動教育」のアクションを支援すると共に、ESD活動による教育の効果を可視化・評価する業務を展開する。

中国地方ESDセンターの役割と強み

環境省・文科省・地域を横断するネットワーク拠点として、中長期的にESDのノウハウや成果を蓄積しながら、地域ESD拠点との連携や機能強化を図り、ESD for 2030に向けた人材育成と社会を変革するための基盤構築を担う。



目的とする変容の対象（フォーカス）

	Focus 1 学習者の変容	Focus 2 教育者・実践者・組織の変容	Focus 3 ネットワークの変容	Focus 4 仕組みの変容	Focus 5 社会的インパクト（めざしたい状態）
学校					
社会教育拠点					
ビジネスセクター					
連携プラットフォーム支援体（自治体、温暖化防止センター、他）					

実践の対象・体制（対象領域）

全国のESD推進ネットワークで取り組む「ESD for 2030 学び合いプロジェクト」をベースに、「フォーカスする変容（誰・何のどのような状態）」や「実践方法（体制と手法・作用）」を記入して、変容の目標と進捗を可視化・共有し、ネットワーク全体の事業評価にも適用する。

ESDネットワーク×気候変動教育の進捗の可視化マトリクス様式

2 EPO ちゅうごく業務

(1) 基本業務

① Web サイト等を活用した情報発信、PR

EPO ちゅうごくのホームページ、SNS 等を活用し、各事業の実施状況のほか、行政機関の動き、公募・助成金情報、イベント情報等を地域内外へ発信した。また、内容に応じメーリングリスト等や SNS の活用による情報発信も行った。

<主な実績>

- ・情報（書籍、雑誌、会報、報告書、行事広報等）収集数：計 461 点
- ・ホームページ情報（行事、補助金・助成金、公募・募集、環境の話題等）発信数：計 1,579 件
※積極的に収集・発信した情報…脱炭素地域づくり：計 154 件、OECM 関連：計 114 件
- ・メールマガジン（定期・臨時）発行数：13 回（3/21 時点で 1,007 件登録）
- ・SNS 発信数：41 回
- ・EPO ちゅうごくの行事開催報告（随時掲載）

② 相談対応・対話の場づくり等

環境教育等促進法第 19 条に基づく拠点として、地域循環共生圏の構築や地域脱炭素の実現などに関する各種情報紹介及び相談者からの相談に対応し、助言や各種会合への参加等を行うこととし、必要に応じてパートナーシップ形成のための対話の場づくり、過去に対応した案件についてフォローアップを行うとともに、相談ニーズに応じて、関係構築、連携強化を目的として、EPO ちゅうごくとのパートナーになり得る主体が開催するイベント・セミナー等へ参加、主催者等の求めに応じた必要な開催協力、イベント・セミナー等広報協力を行った。

<問い合わせ・相談実績>

- ・広報協力、EPO 事業関連、情報収集、人材・事例紹介、団体活動や事業支援相談等：計 178 件

<主な対話の場づくり・開催協力等>

- ・自然共生サイト認定団体相談／現状と課題の共有や支援・協働取組の可能性について意見
- ・SDGs 市民社会ネットワーク相談／SDGs 全国調査プロジェクトの成果について意見交換
- ・萩市市民活動センター相談／サークル型の市民団体が地域課題の解決に資する事業者等との協働の事例や可能性について意見交換
- ・「地球温暖化防止活動推進センター第 1 回中国・四国ブロック会議」出席
- ・「デコ活地域交流会 中国・四国ブロック」出席
- ・山口県生物多様性地域連携セミナー／講師、運営補助
- ・SDGs QUEST みらい甲子園広島県大会／実行委員就任
- ・広島湾さとうみネットワーク／企画運営委員就任
- ・公害資料館ネットワーク／賛助会員登録、「第 10 回公害資料館連携フォーラム in 東京」参加
- ・ひろしま環境ミーティング／実行委員着任、「ひろしま環境ミーティング in 似島」開催協力
- ・2024 年度 RCC ラブグリーン賞審査会／審査委員就任
- ・エコアクション 21 普及戦略会議／委員就任

③ 地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進事業

地域に存在する「ヒト（ステークホルダー）」、「モノ（資源）」、「カネ（金融・経済）」、「情報（ノウハウ）」を繋ぐ場（情報交換会、ワークショップ等）を通じて、グリーンでレジリエントな社会を実現した「地域循環共生圏」のドミノを地域内に波及させるための地域内対話促進を図った。

<実施概要>

- ・ 企業向け情報交換会：脱炭素経営スキルアップ研修会（12/3、鳥取県米子市、米子信用金庫・鳥取県地球温暖化防止活動推進センターとの共催）／中小企業が脱炭素経営に取り組む意義や方法等、県内での取組紹介、環境省と鳥取県の施策や補助金等の情報提供を通じて金融機関の役割と提供できるものについて意見交換
- ・ 自治体向け情報交換会：ほくえい未来トーク 2024（9/21、10/26、11/23、鳥取県北栄町、北栄町との共催）／北栄町 2050 脱炭素ロードマップの達成に向けて、環境活動の取組と脱炭素地域づくりとの関係性整理、北栄町風力発電の 20 年の振り返りと脱炭素・再生可能エネルギーの国際最新動向、風力発電の意義、町内外の事業者によるブース出展による省エネ・再エネの商品や方法への理解等を通じた地域全体の脱炭素地域づくりに向けての町民の理解と実施への機運醸成
- ・ 建築業界向け情報交換会：第 12 回省エネミーティング in ひろしま「住宅省エネ化から 2050 年カーボンニュートラルを目指そう～北海道、長野、鳥取の先行事例とそこで見えてきた課題から学ぶ」（11/12、広島県広島市、一般社団法人 Forward to 1985 energy life との共催）／住宅の省エネ基準適合義務化に向けた先進地域の取組実績や課題、住宅建築実務者やステークホルダーが中国地方でカーボンニュートラルを実現するための議論や行動、住宅業界における対話や取組の促進

④ 全国事業に関わる業務

各地方 EP0 が実施する協働取組の効果最大化の検討を行う検討会議及び各地方 EP0 間の連携強化と情報共有を目的とした「全国 EP0 連絡会議」へ出席した。

<出席した会議>

- ・ 協働取組の効果最大化の検討を行う検討会議（9/20、オンライン会議）／協働取組事業で培ったノウハウの理解と共有を目的に、EP0 着任期間の短いスタッフの疑問、理解が及ばない点、EP0 内ノウハウ共有の課題等を議論
- ・ 第 1 回全国 EP0 連絡会（6/12、東京都渋谷区、オンライン会議併用）／EP0 ネットワークでの議論に関する年間スケジュール、地方 EP0 の事業計画概要共有、事業ごとの獲得目標や進める上での課題等の意見交換
- ・ 第 2 回全国 EP0 連絡会（10/2～3、富山県富山市、オンライン会議併用）／EP0 ネットワーク事業のあり方についての共通理解深化、地域の活動主体や地方環境事務所との協働、地球環境基金との連携における EP0 の役割等の意見交換
- ・ 第 3 回全国 EP0 連絡会（1/16～17、東京都渋谷区、オンライン会議併用）／環境事務所との協働のあり方、新規事業設計に向けた検討体制の整理、地球環境基金との連携事業の方向性、共生圏事業の成果の見せ方や次年度に向けた留意点等の意見交換

⑤ EPO ネットワークとの情報交換会

持続可能な地域づくりにおいて、地方 EPO が身につけておくべき最新のトピックをテーマに情報交換を行った。

<出席した会議>

- ・ 地方 EPO ネットワークとの情報交換会（12/20、東京都渋谷区、オンライン会議併用）／サーキュラーエコノミー、生物多様性/ネーチャーポジティブについて有識者の解説と意見交換

⑥ EPO ネットワークの連携強化

中国四国地方環境事務所管内の地方 EPO 間連携強化を目的に、四国地方環境パートナーシップオフィス（四国 EPO）運営委員会において取組状況を把握するとともに、その他 EPO とも課題に応じた連携を図った。

- ・ 第 1 回四国 EPO 運営委員会（7/10、香川県高松市、オンライン会議併用）／R6 年度事業の事業計画の確認と地域ニーズや課題、業務で目指すあり方等についての意見交換
- ・ 第 2 回四国 EPO 運営委員会（3/17、香川県高松市、オンライン会議併用）／R6 年度事業の実施報告と次年度以降に向けた課題や要望、可能性についての意見交換
- ・ GEOC／地方 EPO 統括会議
- ・ GEOC／地方 EPO 間連携（求人サイトを活用した共同求人、情報セキュリティ強化に係る連携試行）
- ・ 環境パートナーシップオフィス等運営委員会（GEOC、関東 EPO）／運営委員（3 回出席）

（2） 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

① 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

中国地方の地域循環共生圏づくりに取り組む主体（活動団体）に対して中間支援を行う主体（中間支援主体）が支援に必要な中間支援機能を獲得し、地域循環共生圏づくりの支援を実施できるようになるための伴走支援を行った。また、環境本省をはじめとする関係機関と共に全国の進捗共有や過年度の活動団体（卒業団体）へのフォローアップ調査から得た知見を元に事業スキームの改善を図りながら進めた。

<実施概要>

中国地方で地域循環共生圏づくりに向けた取組（構想づくり、体制構築、実現のための取組検討）を行う 2 活動地域の活動団体＋中間支援主体（参加団体）に対し、地方支援事務局として中国四国地方環境事務所と連携して必要な支援を行った。

<参加団体の取組概要>

- ・ 江田島市の取組（活動団体：一般社団法人フウド、中間支援主体：一般社団法人 HLL）

高齢化や人口減少が進行する広島湾の島しょ部。自然環境や農水産品を活かした体験型観光レクリエーションや環境学習等が盛んな地域。近年は移住者・起業者も増加するが、地域全体を網羅するネットワークは未熟である。本事業で地域が目指す将来のあり方の共有とネットワーク化を図るとともに、環境資源の活用・保全を意識した事業・取組の展開、市域外のノウハウ、リソースとの連結等により地域の持続可能性を追求する。

・安芸太田町の取組（活動団体；NPO 法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ、中間支援主体：
一般社団法人あきおた）

広島市の北に隣接する中山間地域で高齢化や人口減少、担い手不足が進む。中国山地の山林や太田川流域等の自然を活かしたツーリズムやセラピー、田舎体験等が展開されているが、異業種間連携が乏しく、資源を生かした戦略設計や新たなプラン創出に結びつかずポテンシャルを十分に発揮できていない。地域内の情報交流機会を設け、観光だけでなく農業や環境保全、人材育成等、業種を超えた取組を進め、地域の持続的な発展の基盤を構築する。

＜参加団体への支援＞

- ・中間支援主体への申請内容ヒアリング＋事業計画打ち合わせ（年度当初）、中間支援主体との定例ミーティング（年度中1回/月程度、参加団体＋運営チームミーティング（必要に応じて随時）、活動団体開催の地域ステークホルダーミーティングの企画運営支援（必要に応じて随時）、活動に必要なリソースとの連結（政策・制度情報提供、所感組織部局紹介、情報交換機会設定等、求めに応じて随時）

＜情報共有、相互参照の機会＞

- ・中間支援主体対象キックオフミーティング「中間支援ギャザリング①」（5/30、オンライン会議）／地域循環共生圏の考え方と事業目的の再確認、中間支援機能に関するレクチャー、活動計画の相互参照
- ・中国地方参加団体対象のキックオフミーティング（6/27、広島県広島市、オンライン会議併用）／事業目的と到達点の再確認、過去の事例からの注意点共有、活動計画の相互参照と意見交換による新たな視点の獲得
- ・中国地方参加団体対象の中間共有会開催（10/22、広島県江田島市、オンライン会議併用、有識者同席）／上半期の取組の中間報告、直面した障害や課題の共有と相互参照、活動上の悩み事解決や新たな視点獲得のための意見交換、関係者との情報交流
- ・中間支援主体対象成果共有会「中間支援ギャザリング②」（2/27～28、東京都千代田区）／全国の中間支援主体間で支援の振り返り、直面した障害や課題の共有と相互参照、今後の支援において重視するポイントの共有

＜支援事務局関係者との議論＞

- ・地方EPO等共有会（5/15、オンライン会議）、第1回作業部会（9/4、東京都渋谷区、オンライン会議併用）、事業検討会議（12/18、オンライン会議、東京都渋谷区会場併用）、第2回作業部会（1/30、東京都渋谷区、オンライン会議併用）において、全国・地方支援事務局（環境省、地方環境事務所、地方EPO等、GEOC、ERCA、有識者等）での進捗状況や課題と打ち手の共有、事業スキーム改善のための検討、次年度事業に向けた事業設計について議論した。

＜卒業団体フォローアップ＞

- ・山口県大島郡周防大島町において令和4～5年度に地域プラットフォーム構築に取り組んだ株式会社YMFG ZONE プラニング（山口県下関市）に対して、事業後の取り組み状況、取組上の課題、今後の見通し等についてヒアリングを行い、取組の継続や発展に至るポイントや留意すべき事項について把握した。

② 地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用に関する意見交換会

自然資本を基盤とする地域づくりに関するパートナーシップの促進及び、生物多様性のための30by30アライアンス、自然共生サイトへの理解・参加促進を図ることを目的に、身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換会等を開催した。

＜実施した意見交換会＞

- ・森里川海プロジェクト企業交流会 in 倉敷（11/8、岡山県倉敷市）／環境省の森里川海プロジェクト賛同企業有志、環境事務所との共催で、岡山県を中心とする民間事業者を主な対象にネ

イチャーパーポジティブに係る環境省政策や企業の取組事例、有識者の知見等の話題提供による国際動向、国内政策、実践現場など総合的、多角的な情報提供、理解促進

- ・自然共生サイト中国地方ミーティング 2024（2/5、岡山県岡山市、オンライン会議併用）／自然共生サイトの取組状況や動向の理解促進を目的に、環境省の制度説明や中国地方の取組紹介による情報共有、自然共生サイト認定団体を囲むグループディスカッション、質疑応答、情報交換を通して、自然共生サイトの利活用の課題や可能性を意見交換

③ 地域循環共生圏の担い手等の情報収集・提供等

本業務を通じて地域での地域循環共生圏創造の担い手、背景情報及び活動状況について情報収集を行うとともに、担い手に対する地域循環共生圏に関する情報提供、意見交換を通じて関係構築を図った。

<実施した情報交換>

- ・Chukai トライセクター・ラボ（12/4、鳥取県米子市）
- ・山海環ヒアリング（1/23、広島県安芸高田市）

(3) 中間支援組織の強化・活動支援

2023年に広島で開催された「G7 広島サミット」で連携した各種団体との取組みをさらに発展させていくため、グローカル（グローバルとローカル）の視点から他分野の市民社会と関係を構築していくための情報交換会を開催した。

<共催した会議>

- ・「みんなの市民サミット 2024～核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会を目指し、市民社会から「〇〇×まちづくり＝平和」を語り合う～（9/7、広島県広島市）／過年度の「みんなの市民サミット 2023」等の後継活動として、広島・中国地方・全国の多分野の関係団体と協働し、企画運営を支援することで、分野や立場を横断するグローカルな活動の継続化や定着化を図る

3 中国地方 ESD センター業務

(1) ESD 活動に関する域内情報の収集・発信

及び ESD 活動に関する域内外への情報提供等

ESD 推進ネットワークのハブとして、全国及び各種のネットワークを活用し、ESD 活動を推進するために必要な情報・知見・ノウハウを収集するほか、国の政策や地域の活動、中国地方 ESD センターの取組等を効果的に発信するとともに、全国・地方センターと連携した情報発信を強化し、ESD の普及・啓発や活動の発展、広域的な情報交流、中国地方 ESD センター業務への理解促進を図った。

<主な実績>

- ・情報（書籍、雑誌、会報、報告書、行事広報等）収集数：計 283 点
- ・ホームページ情報（行事、補助金・助成金、公募・募集、ESD 情報等）発信数：計 538 件
※積極的に収集・発信した情報…気候変動教育：計 52 件、地域 ESD 拠点関連：計 100 件
- ・メールマガジン（定期・臨時）発行数：EPO ちゅうごくメールマガジンと一体で発行
- ・SNS 発信数：26 回

(2) ESD 活動に関する相談・支援窓口

ESD 推進ネットワークのハブとして、事業から得られた情報やノウハウ等を活用しながら相談及び照会に対応し、民間団体・地方公共団体双方の取組を支援することを通して、自主的・自発的な ESD 活動や協働の促進に努めた。

<問い合わせ・相談実績>

- ・広報協力、ESD センター事業関連、情報収集、人材紹介、研修・事業の相談等：計 57 件

<主な対話の場づくり・開催挙力等>

- ・公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会／万博を活用した ESD 意見交換会グループ議論補助
- ・一般社団法人 ONE DREAM イベント「ARTS×SDGs×the BEAUTIFUL WORLD」／運営支援
- ・小学生 SDGs キャンプ in 江田島／体験学習講師
- ・安田女子大学現代ビジネス学科／「ボランティア論」講師
- ・小中学校 SDGs 学習等授業講師（3 件）
- ・後援名義申請承諾：2 件

(3) 域内外の多様な主体の連携促進、交流の機会の提供

① 2030 学び合いプロジェクト

気候変動時代の ESD を促進するために ESD 推進ネットワークで注力する気候変動を切り口とし、地域の状況やニーズに応じたテーマを定めた学び合いの機会を提供することを目的に実施した。

<実施概要>

R5 年度の学び合いプロジェクト（北栄町脱炭素ロードブック）の水平展開に向けて、島根県（2/6）、岡山県（2/27）、山口県（3/12）における気候変動教育や脱炭素地域づくりの動向及び課題についてヒアリングし、学び合いプロジェクト並びに他の EPO 業務も含めた連携の可能性について検討した。

② ノウハウの共有と推進に関する方策の検討

気候変動を切り口とした ESD を推進するに当たってのノウハウや課題を共有し、方策を検討するために全国センターが開催する会合に参加し議論した。

<出席した会議>

- ・ 第 1 回気候変動教育作業部会（7/25、東京都渋谷区、オンライン会議併用）
- ・ 第 2 回気候変動教育作業部会（2/25、東京都渋谷区、オンライン会議併用）

③ 報告

鳥取県北栄町において実施した R5 年度学び合いプロジェクトの成果や現在の取組状況について、同町関係者（自治体、ユース）とともに報告した。

<出席した会議>

- ・ ESD 推進ネットワーク全国フォーラムでのパネルセッション（12/1、東京都渋谷区）

（４） ESD 活動に関するネットワークの構築

地域の ESD 活動実践者等が、活動を効果的・効率的に行えるよう、ESD に関する情報提供や活動情報の相互共有などの支援を行うとともに、地域住民等の ESD に対する態度変容・行動喚起を促進するため、ESD 推進ネットワーク地域フォーラムを開催した。過年度の地域 ESD 拠点支援からの継続展開として、島根県立しまね海洋館アクアス及び関係機関と連携して「SDGs オープンカフェあつうみ」を共催し、これまでテーマとしてきた石見地方の海の持続可能性について「食」にフォーカスした対話や学び合いの機会を創出した。

<実績概要>

- ・ いわみっこミーティング（企画会議）／地域 ESD 活動推進拠点打ち合わせ（3 回）
- ・ SDGs オープンカフェあつうみ～あつまれ うみのなかまたち～（6/9、島根県浜田市）／仕事で石見の海に関わる方をゲストに、海の環境がどのように変化しているか話題提供を受け、岩見の海の持続可能性についてディスカッション
- ・ SDGs オープンカフェあつうみ～いわみの海を食べるを語ろう～（9/1、島根県浜田市）／石見地方の魚の家庭料理の話題を基にして、海の環境や食文化の変化をテーマに石見の海の持続可能性について意見交換
- ・ SDGs オープンカフェあつうみ～あんな魚こんな魚食べてみたらうまかった!!～（1/19、島根県浜田市）／石見地方の海の持続可能性をテーマに未利用魚にスポットを当て、あまり食べられていない魚や流通が難しい魚等についての話題提供、参加者の関心や経験を交えた意見交流
- ・ ESD の質的評価に係る意見交換／ESD 有識者の協力のもと中国地方の ESD の現状や特性、中国地方 ESD センターの強みや課題、ESD の評価や価値付け方法等の意見考案

(5) 全国センター及び地方 ESD センターとの連携協力の推進等

① 全国 ESD センター及び地方 ESD センターとの連携強化

全国の関係機関や有識者等が集う会議への出席を通して、環境教育等促進法の基本方針改定に向けた専門家会議の議論も踏まえて、ESD 推進ネットワークの新たな方向性や事業スキームの展開を図り、全国各地の情報共有や連携を促進した。

<出席した主な会議>

- ・ 第 1 回 ESD センター（全国・地方）連絡会（6/13、東京都渋谷区、オンライン会議併用）
- ・ 第 2 回 ESD センター（全国・地方）連絡会（1/17、東京都渋谷区、オンライン会議併用）

- ・ ESD 全国ネットワーク団体意見交換会（7/24、東京都中央区、オンライン会議併用）
- ・ ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2024 「気恋変動×〇〇～点から線、線から面へのつながりづくり～」(12/1、東京都渋谷区)

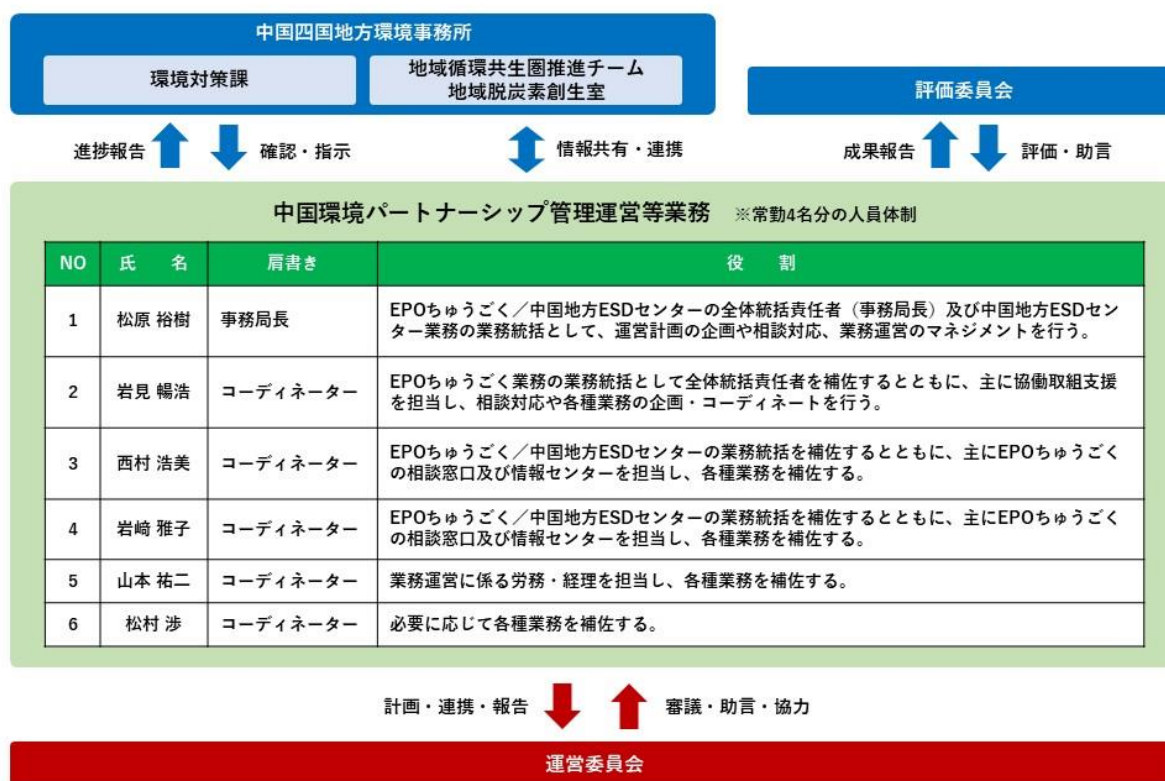
- ・ 第 1 回 ESD 活動支援企画運営委員会（6/27、東京都渋谷区、オンライン会議併用）
- ・ 第 2 回 ESD 活動支援企画運営委員会（2/28、東京都渋谷区、オンライン会議併用）

- ・ 四国地方 ESD センター第 1 回運営委員会（7/10、香川県高松市、オンライン会議併用）／今年度の事業計画、四国地方における気候変動教育のあり方、や社会教育分野との関わり方の議論
- ・ 四国地方 ESD センター第 2 回運営委員会（3/13、香川県高松市、オンライン会議併用）／今年度の実施報告、四国地方における ESD 推進に向けた現状課題整理と次年度の取組に向けた議論

4 管理業務

中国四国地方環境事務所や他地方環境パートナーシップオフィスと連携して、EPO ちゅうごく／中国地方 ESD センターの適切な管理運営に務めた。

【運営体制】



<実施した内容>

- ・ 業務目標・業務運営計画の策定
- ・ 運営委員会の設置・開催（第1回：6/6、第2回：2/20）
- ・ 中国四国地方環境事務所との定例打ち合わせ（毎月1回）
- ・ 中国四国地方環境事務所の所内勉強会における活動紹介（1回）
- ・ 業務実施報告書の作成